

SLA通信

第58号

2012年 12月 21日発行

SLA交流会 新年会のご案内

中部シニアライフアドバイザー協会
会長 今泉治子

寒さが一段と厳しくなりましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか。いつもは、協会の活動にご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、恒例の新年会を、下記のとおり開催いたします。

新しい年の抱負を語り合い、親睦を深めると共に、皆さま方の情報交換の場としてもお役立ていただきたく、多数のご出席をいただきますよう、心よりお待ち申し上げます。

記

- ◆ 日 時：2013年1月26日（土）
- ◆ 時 間：11時30分～14時00分（受付：11時～）
- ◆ 場 所：ホテル名古屋ガーデンパレス（昨年同様の新年会と同じ会場です）
名古屋市中区錦3丁目11-13 電話 052-957-1027
地下鉄 栄1番出口 地下鉄 丸の内5番出口
地図は、同封のチラシを参照して下さい
- ◆ 会 費：5,000円（フリードリンク付き）
- ◆ 申 込：下記のいずれかの方法で1月10日迄に、出欠をお知らせ下さい。
 - ◇ 加藤恭子
携帯 090-6573-6434
FAX 0568-88-2474
E-mail kyoko211@pa2.so-net.ne.jp
 - ◇ 山下美佐恵
携帯 080-3287-5832

幹事会 お知らせ

《アンケート調査実施 協力のお願ひ》

SLA 活動推進の環境作りを図るとともに、一層の充実と活性化をすすめるため、別添のアンケート調査を実施いたします。ご協力をお願いいたします。

◆調査項目

1. 個人またはグループで活動されていることをお知らせください。
(仕事、ボランティア活動、地域活動、趣味の活動、その他)
2. 今後、活動したいと考えていること、学びたいことをお知らせ下さい。
3. 講演会、生き生き教室の講師として、お願いできるテーマがありましたらお知らせください。また講師として推薦できる会員がおりでしたら、お知らせください。

◆報告用紙「別紙」

- ◆報告期日 平成 25 年 1 月 10 日までに「総務」へ報告する。(郵送 FAX、またはメール)
荒川輝子 〒458-0803 名古屋市緑区鏡田 506

FAX : 052-876-0293 E-mail : marimo@mc.ccnw.ne.jp

幹事会 報告

《幹事会 実施報告》

- 平成 24 年度第 7 回幹事会
開催日 平成 24 年 10 月 19 日 (金) 13:00~17:00 市民活動推進センター集会室 11 名
- 平成 24 年度第 8 回幹事会
開催日 平成 24 年 11 月 16 日 (金) 13:00~17:00 市民活動推進センター会議室 12 名

《第 2 回拡大会議 実施報告》

日 時 平成 24 年 10 月 19 日 (金) 10:00~12:00
会 場 市民活動推進センター 集会室
出席者 幹事会 交流部会・研修 A・研修 B・研究部会・地域部会代表者 計 15 名
議 事 活動日程の確認と調整
各部会報告 (現況・活動報告・活動予定・予算など)
次回予定 平成 25 年 2 月 15 日 (金) 10:00~12:00 市民活動推進センター集会室

《会則等検討委員会 実施報告》

日 時 平成 24 年 11 月 16 日 (金) 10:00~12:00
会 場 市民活動推進センター 集会室
出席者 幹事会 11 名 参画希望者 1 名 (畑島美奈子)
議 事 素案づくり (会則の改定事項の整理)
次回日程 平成 25 年 1 月 18 日 (金) 10:00~12:00 市民活動推進センター集会室

交流部会 報告

秋の紅葉 愛岐トンネル散策

井出勝男

今冬一番の寒い日だった為に参加者はSRクラブの7名のみでした。

10時過ぎに定光寺駅に集合、他にも各程のグループがおり、是非見たいとのことで一緒に、入口付近の紅葉と3号トンネルを見てから、定光寺へ向かって行きました。

今年は紅葉が早く三國五（ミヨイ）の大もみじは盛りを過ぎてしまっていて残念でしたが、他はきれいに色づいていました。

3～6号トンネルと新しく私が開発した「玉野古道」を見てもらいました。

昼食は東屋で囲炉裏を囲み火を焚き、自在鉤に鉄ビンを吊るし湯を沸かし、お茶と紅茶を飲みました。寒かったので酒が欲しかった・・・今回は皆さん是非酒盛りをしようとのことでした。

秋の一般公開は22～27（日）で19,500人、特に土、日は6千人～6千800人が集まり、定光寺駅まで人があふれ、入場できない人もいました。

最近メディアでも多く取り上げられ、最近では「ジパング倶楽部」11月号「鉄道遺産 いま・むかし」にも掲載され、全国的にも承認されてきました。また11月には名古屋の何村市長、文化庁からも視察にきました。

いずれ定光寺～古虎溪駅間を「フットパス」構想で通り抜けが出来る日を、乞う御期待！

電話相談研究部会 部会員研修会予定

- 日 時：平成25年3月6日（水曜日） 10:00～12:00
- 場 所：市民活動推進センター集會室
- 9月に実施された「シニアの悩み110番」の課題を持ち寄り話し合います。
※詳細は2月発行のSLA通信に掲載します

《総務部》

部会代表の皆さまへ

部会のイベントの予定が決まりましたら、総務へ日程と内容をご連絡ください。

E-mail marimo@mc.ccnw.ne.jp FAX 052-876-0293（荒川輝子）

《広報部》

SLA通信についてのごお願い

- ◆ SLA通信は原則として偶数月の第3金曜日に発行します。
- ◆ 会員の皆さまへの活動案内・お知らせはすべて通信に掲載、またはチラシを同封します。必ず目を通していただくようお願いします。
- ◆ SLA通信への活動記事の掲載、またはチラシの同封依頼は、発行日2週間前までに、広報部へメールまたはFAXでお願いします。
なお、個人によるSLA活動のお知らせ等を同封希望の方は、事前に広報までご相談ください。

E-mail takako-0014@yk.commuja.jp FAX 052-877-5457（大歳凜子）

生き生き教室 報告

《平成 24 年度第 2 回「生き生き教室」開催報告》

- ◇ 日 時 平成 24 年 11 月 28 日 (水) 13:30~15:30
- ◇ 会 場 市民活動推進センター 集会室
- ◇ 参加者 19 名 (一般参加 2 名)
- ◇ テーマ 第 1 部「自分でできる整膚の基本手技」 講 師 水野サヨ子 (中部 SLA 会員)
第 2 部 SLA から学ぶ“緑に導かれて今” 協力者 宮地祥子 (中部 SLA 会員)



生き生き教室に参加して

森北美美子

11 月 28 日ナディアパークで整膚師範水野様に
実技指導をしていただきました。

二人一組になり互いに挑戦しました。

しばらくすると身体が温かくなってきました。

同僚の方々を見ると皆様ほんわりと上気したご様子で
笑顔が満ち溢れて楽しそうな雰囲気でした。

男性も 2 名参加され、和気藹々とした時間を過ごす
ことができました。



次回の生き生き教室は平成 25 年 2 月下旬、引き続き健康シリーズを予定しています。

講師・協力者の方について、ご希望がありましたら、下記迄お願い致します。

自薦・他薦、いつでもご連絡下さいますようお願いしております。

連絡先 電話/FAX 0568-22-1487 浅野 澄子

地域部会報告

《名南部会》

キリンビアパーク工場見学 清洲城散策 清洲総合福祉会館見学

11月1日（金）参加者 12名

お天気に恵まれ、各施設間の移動に、清水さんのお骨折りがあって、車で送迎していただいたお陰で盛りだくさんのスケジュールも急ぐことなくゆっくりと楽しむことができました。ありがとうございました。

キリンビアパーク工場見学はリニューアルしたばかりのようで、説明のビジュアル効果に驚きの声が上がっていました。もちろん、試飲ビールも、オ～美味！でした。

清洲城は清洲の覇者たちの功績が体感できるように展示しており、歴史の中でひとときを楽しめました。

清洲総合福祉会館は清洲市の社会福祉協議会のデイサービス施設で、広さ、入浴施設など、ゆつたりと整っていました。超高齢社会に向けて、目が離せない分野として、多方面から学んでいかななくては…と感じました。お世話くださった方々に、感謝、感謝の日でした。（古田志賀子）



《尾張部会》

2012年秋の行事報告他

ヤマザキマザック美術館鑑賞と食事会 2012年11月15日



尾張部会長 大和田 孝也

今回は、松本敏子さんの企画でヤマザキマザック美術館の鑑賞、「トラットリア・トペ」でのイタリアンの食事会と楽しいひと時を過ごすことができました。出席者は7名でした。

会食中の話のなかで SLA としての活動をどうするかにも触れられ、電話相談の難しさや、最近相続の問題が多いことなどからエンディングノートへの取り組みをしてみたらどうかなどが語られました。

その後有志で会員の長谷川浩子さんが愛知県美術館で出展されている「新制作絵画展」を見学いたしました。

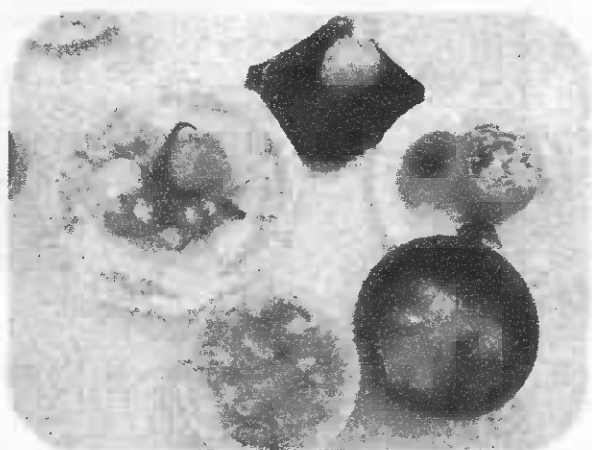
前部会長の田中芳雄さんより今回が最後の出席となる旨話しされました。

長年、会の運営に貢献されたことに対して感謝申し上げます。

《名北部会》

簡単にできるおもてなし講座 報告
2012年11月27日(火) 講師：加藤昂治 (SLA 協会員)

はじめての試みでしたが、皆さまのご協力で、楽しい講座になりました。
いつもはよそ行きの顔で活動に出てこられる方たちが、エプロン姿で、
甲斐甲斐しく料理を作る家庭的な一面も見られ、感動的でした。



料理教室に参加して

久しぶりのお料理教室に少し胸をはずませてウィルあいちに出かけました。

途中の紅葉も心なしか弾んでみえます。

SLAの加藤先生のご指導で20名が先生のお話を聞き、今日の献立に挑戦、今日は5種類のメニューでキノコの炊き込みご飯、柿の白和え、煮物5種、潮汁、栗きんとん。

種類が多く出来上がるか少し不安でしたが、それぞれ分担しながら和気あいあいのうちに料理が整っていきます。

加藤先生に煮汁の割合をお聞きしたり、皆さんと「これでいいの?」「よかった?」などと、いつもと何か一味ちがうムードの中、皆で作る雰囲気は格別でした。

来年のお正月には全部取り入れてみたいと思っています。

最後にコーヒーをのみながら一人一人感想をお聞きできたのも素晴らしかったです。

又、料理教室に参加させていただきたいと思っています。

ありがとうございました。(山崎賀津子)



名北部会の皆さまへ

新年会の当日、会が始まる前の時間を利用して、ミーティングを開きますので、ご出席をお願いいたします。

日時 2013年1月26日(土)10:00~11:00

会場 名古屋ガーデンパレス 1F

ティーラウンジ アーブル

《三河部会》

中部国際空港（セントレア）見学とランチバイキング（報告）

12月5日（水） 参加者 11名

前日は、この時期特有の寒気団や時雨や寒風で肌寒い一日であったため、空港の見学ということもあり心配していた。しかし、当日はバツと晴れあがり絶好の見学日和となった。また、開催日には参加者全員が定刻前にきちんと集合頂くなど、SLA会員の士気の高さを再認識した。

空港案内は常滑国際交流協会会長（市原昌様）と杉田様にお願ひし、通常は観ることのできなかつた数々の「掘り出し物」との出会いを作って頂いた。しかも、案内者の含蓄のある説明の下で、ゆっくり時間をかけて納得しながら見聞することができた。バリアフリーを基準とした各種設備、常滑焼の技術を活かした壁、ライト兄弟の飛行機、搭乗ゲートエリアの覗き見、障害物がなくほぼ半球面を見渡せるデッキからの陸海空の眺めなど魅せられるものが多かつた。

ランチバイキングは低料金（¥1,500/人）ながら味・量ともに好評であつた。離着陸機の飛行や海上の大型船や遠くの半島を観ながらのランチも味覚の幅を広げてくれたような気がした。

部会は部会員 90%以上の出席の下、会の運営・会員の近況報告・次回部会開催計画など中身の濃い話し合いとなつた。これを機に、今後、益々充実した部会に成長すること念じている。

（2012.12.6 三河部会関係担当 大橋未澄）



《名東部会報告》

スクエアステップエクササイズ リーダー 中島衣代

体力の機能向上と脳トンをかねた転倒、認知症、エコモ予防の楽しいエクササイズ

地域の方々との交流も出来楽しく行われました。
継続の希望が有り今後も同好会として続ける予定です。

実施日：6月23・30日 7月7日 8月3日 9月2日 10月7日 11月4日 12月2日 計8回

場所：愛知県口輪藩（こおろぎ）運動公園施設内

参加者：名東部会 SLA会員 地域の参加者 計18名

毎回日時料 1000~

少し早いお知らせですが、本年度最後の名東部会を次のように開催いたします。

「名古屋の実業家、古川為三郎氏の近代歴史遺産にふれて！」

- 1 日時 平成 25年 2月 28日（木）
- 2 場所 古川為三郎記念館と古川美術館（名古屋市千種区）
- 3 その他 食事をどこかで取りながら、楽しい一日にしましょう

※詳細につきましては、2月発行の通信にてご連絡いたします。

※他部会の会員の皆様の参加をお待ちいたしております。

平成 24 年度活動予定（平成 24 年 12 月～25 年 3 月）

活 動 名	日時・会場
平成 24 年度第 9 回幹事会	平成 24 年 12 月 21 日（金） 9:30～12:00 市民活動推進センター 会議室
SLA 通信 58 号発行 カレンダー発送	平成 24 年 12 月 21 日（金）
会則等検討委員会	平成 25 年 1 月 18 日（金） 10:00～12:00 市民活動推進センター 集会室
平成 24 年度第 10 回幹事会	平成 25 年 1 月 18 日（金） 13:00～17:00 市民活動推進センター 会議室
平成 25 年度新年会	平成 25 年 1 月 26 日（金） 受付～11:00～ ホテル名古屋ガーデンパレス
PC 研究部会 「例会」と「パソコンなんでも相談会」	平成 25 年 1 月 29 日（火） 14:00～16:30 市民活動推進センター 集会室
拡大会議	平成 25 年 2 月 15 日（金） 10:00～12:00 市民活動推進センター 集会室
平成 25 年度第 11 回幹事会	平成 25 年 2 月 15 日（金） 13:00～17:00 市民活動推進センター 会議室
名東部会	平成 25 年 2 月 28 日（木） 古川為三郎記念会館と古川美術館
電話相談研修会	平成 25 年 3 月 6 日（水） 10:00～12:00 市民活動推進センター 会議室
会則等検討委員会	平成 25 年 3 月 15 日（金） 10:00～12:00 市民活動推進センター 集会室
平成 25 年度第 12 回幹事会	平成 25 年 3 月 15 日（金） 13:00～17:00 市民活動推進センター 会議室
全国一斉「シニアの悩み 110 番」	平成 25 年 3 月 23 日（土） 24 日（日）

※24 年 12 月 21 日現在、日時が決定している活動のみ掲載しています

《会員便り》

布から紙へ

小林 弘子

整理をしようと物置の衣装缶を十数年振りに開けてみた。そこには傷んではいるが、まだ使えそうなシーツやバスタオル等が入っていた。

もう十数年前のこと、ある人に「少々破れたシーツなどは捨てないで取っておいて」と教えられた。その人は、ご主人の御母様の介護をしておられた。私も夫の母親と暮らしていたので、教えられたことを心がけてきた。それが衣装缶の中のシーツ類である。

元気だった夫の母親も八十歳を過ぎた頃から身体の衰えが目立つようになり、骨折で入院をして手術をした。病院では動けない患者の介護に紙おむつが使われていた。その後退院して在宅介護になった。家でも紙おむつを使った。はじめの頃は、使い捨ての紙おむつは勿体無いという気持ちが強かったが、それでも洗濯の必要の無い紙おむつは清潔で便利だった。

やがてその便利さに慣れて勿体無いという気持ちは徐々に薄れていった。その義母も逝って十年になる。洗っては繰り返し使える布製のおむつは経済的ではあるが介護する者の労は大変である。

十数年前に、ある高齢者の施設を訪ねたことがある。その施設では布おむつが使われていた。洗濯物は大変な量だった。畳の部屋には乾いた洗濯物が、山のように積み上げられていて、その横で職員の方が一枚ずつ広げては丁寧にたたんでいた。あの光景を今でも思い出すことがある。

布おむつから紙おむつへと、身近な介護用品が進化してきた。お陰で介護者の労を軽くしてくれている。

*会員の名簿順に原稿をお願いしています。

次回は、清水博子さんをお願いします。



中部シニアライフアドバイザー協会

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパーク デザインセンタービル6階
市民活動推進センター 中部シニアライフアドバイザー協会 No.47

専用電話
E-Mail
URL

090-2926-1995
chubusla@yahoo.co.jp
<http://sky.geocities.jp/chubusla/>